

平成28年度 大阪府立摂津支援学校 第3回 学校協議会 実施報告

1 日 時 平成29年2月22日(水) 午前10時00分～12時05分

2 場 所 本校 会議室

3 出席者 <学校協議会委員>

西野 陽一 (大阪工業大学) (学校協議会委員長)

大矢 優子 (摂津市教育委員会委員長)

福光 徒紫美 ((株) ダイキンサンライズ摂津)

伊藤 聡子 (大阪府吹田子ども家庭センター)

増山 克己 (茨木・摂津障害者就業・生活支援センター)

水眞 龍次 (柱本自治会)

宮脇 千恵 (本校PTA)

<摂津支援学校>

校長 (大峠) 教頭 (人見) 事務長 (洲本)

首席 (中島) 首席兼中学部主事 (南) 教務部長 (坂部)

部主事 (小野、木村)

<傍聴者> 1名 (本校保護者)

4 年間テーマ及び協議事項 『知的障がい支援学校としての本校の現状と課題について』

5 主な内容 ①学校教育自己診断の結果報告
②授業アンケートについて報告
③今年度の総括及び次年度の学校経営計画策定に向けて
④次年度使用の教科書選定について
⑤進路状況について

6 説明・質問・協議内容等

(1) はじめに [進行: 南]

○ 配付資料の説明 (高等部1年生職業コース生徒が接客を担当)

○ 校長あいさつ とりかき高等支援学校の入試が実施された。本校のインフルエンザの罹患状況について。3学期の児童生徒の様子は落ち着いている。本日もご指導ご助言お願いしたい。

委員長あいさつ 年度末を迎えている。今年度最後の会なので、忌憚の無いご意見を。

(2) 協議事項 [進行: 委員長 記録: 中島]

① 学校教育自己診断の結果報告 (首席: 南より) 別紙資料③-1、2、3 参照

・今年度は保護者に再度提出の呼びかけを行わなかった。小学部・高等部で少し提出率が落ちた。

・保護者、児童生徒、教職員ともに肯定的回答が多数を占めた。児童生徒、教職員については、肯定的回答が大幅ダウンした項目があったので、それについて説明を行った。否定的回答については、30%以上あるかどうかに着目した。保護者については無かったが、児童生徒および教職員について説明をした。

・昨年度の課題について、達成状況等説明を行った。

・本校としては、来年度もう一年同じ形で続けたい。改善点などご意見いただけたら反映させた形で実施したいと考えている。

・各委員からのご意見

[委員]呼びかけしなくても回収率が高いが、呼びかけをしたらもっと増えたのではないか。国際理解教育の機会は減っているのか。 →[学校]昨年度と比べ、人材バンクとの調整により回数減った。 →[委員]町で外国人に会うことも多い。子ども達は楽しみにしているの、

改善を望む。

[委員]校長のリーダーシップについて、教員から意見を聞くのはよいことだが、まずは校長が大筋の考えを提示したほうがよい。→[校長]トップダウンだけでは組織が弱体化する。紙ベースで校長の考えは職員に提示している。意見、報告がしっかり上がってくる学校と思う。→[委員]校長のそういった考えは伝わっているのか。教員の構成も変わり、若い先生も増えている。→[校長]若い教員には的確に指示を出す必要があるが、必ずしも校長でなくてもよいと考える。→[委員]校長の話に納得。トップダウンで裁量権がなくなると職員のやる気は落ちる。

[委員]交流の機会は減ったのか？→[学校]居住地校交流などは減っていないが、とりかい高等支援との交流が減ったのが影響していると思われる。

[委員]保護者からいろんな意見出ているが、子ども達の生き生きした表情からも先生方が一生懸命取り組んでくれているのが伝わる。学校に来る機会が多いとそれがよくわかる。

[委員長]教員の言葉遣いなどの指摘は、単に一場面しか知らない保護者が書かれたとしても学校として、気をつけていかなければならない点である。

[委員]「ゆとりと潤いのある教育環境」の項目が低い、表現が抽象的過ぎるので評価しにくいのでは。文言の変更も検討してみても。

② 授業アンケートについて（教頭より） 別紙資料④参照

・前期は4～9月、後期は10～1月で集計している。保護者からの回収率はよくない。どうやって回収していくかが課題である。生徒については高等部のみに実施している。

・各委員からのご意見

[委員長]回答数が一桁など少ないと、統計的に意味が無い。

[委員]生徒のアンケートで「授業でがんばったことをほめてもらったか」につて結果が低いのは、残念。その学年の先生にも結果を知らせて話し合ってもらいたい。

[委員長]アンケート実施方法について質問。→[学校]生徒の分は期間を決めて授業の初めに行く。参観に来る保護者が少ないので、保護者の回収率が上がらない。→[委員長]どうやったら保護者は来やすいか、PTAで意見を集約しては。

[委員]アンケート実施が高等部のみなら文言の検討をしては。高等部になったら、小中学部とは違い、大げさに褒めたりしない。質問1も「授業に楽しく」を聞くのではなく、「集中できたか」など、学校として生徒に求めるものを取り入れたほうがよい。

[委員長]先生によって評価は違っているはず。個々の教員に返しているのか。→[校長]本来教員は見ないが、マイナス要素で必要な部分は伝えている。先生方の評価育成の資料となる。厳しい指導の中でも褒めるのは大切と考える。

③ 今年度の総括及び次年度の学校経営計画策定に向けて（校長より）別紙資料⑤-1,2参照

・昨年度と変わった所は網掛けをして示している。厳しく自己評価をおこなった。WEB上にも公開予定である。H29年度分は最終締め切りが5月末で、今後修正もありうる。

・各委員よりご意見

[委員]H28年度の中期的目標にある「摂津支援の授業STANDARD」作成についての評価はどこに書かれているのか。→[校長]できていない。今後課題にしなければならない。→[委員]私のイメージする授業のスタンダードとは、授業の進め方を統一することや教室環境のユニバーサルデザイン化などである。今後検討を。

[委員]防災の面が気になる。→[校長]（摂津市との防災協定について説明した上で、）地域との連携を引き続き重視する。

(3) 報告事項

① 次年度使用の教科書選定について（教務部長：坂部より）別紙資料⑥参照

- ・ 網掛けの分が、児童生徒の実態に合わせて新しく選定したものである。
- ・ 各学部で、教科書が使用されている状況を具体的に使用教科書を提示しながら紹介した。

② 進路状況について（高等部主事：木村より）別紙資料⑦参照

- ・ 高等部3年生31名中、進路未定者は今のところ3名である。それぞれの状況を説明。職業コースについては、10名中5名が就労した。

[委員] 摂津支援学校は校区が広く、近隣の摂津市の進路情報はあっても吹田市の情報は少ない。もう少し努力して欲しい。 → [学校] 努力は続ける。開校当初と比べると情報は増えていっている。 [校長] 学校に事業所を集めた形での説明会もしたいと思っている。 → [委員3] 進路担当教員だけでは、負担が大きい。ネットワークを作り、情報が入ってくるシステム作りが大切。

- ・ その他

[委員] 今年度、校内で行われたジョブリンピックに審査員として参加した。生徒たちががんばる姿を見て、参考になった。

7 まとめ [進行：南]

- ・ 委員長より 今年度も、たくさんの意見、ありがとうございました。
- ・ 校長より このように提言いただけるのは、ありがたい。来年度もひきつづきお願いします。

8 事務局より諸連絡

- ・ 次年度の日程等 1回目は6月中旬頃の予定です。

【配付資料一覧：資料番号】

- ①次第 ②協議会名簿 ③学校教育自己診断の結果報告
④授業アンケート集計結果 ⑤今年度の総括及び次年度の学校経営計画策定に向けて
⑥次年度使用の教科書選定について ⑦進路状況